

平成23年度「組織目標」

組織名	健康推進課	(所属長名)	角野 文彦
組織の使命(なぜ)	県民だれもが健康で生き生きと安心して暮らせるため、地域における健康づくりを推進するとともに健康危機管理に努めます。		
組織の経営資源	予算額： 9,035,437千円(人件費を除く) 人員： 60名(地方機関を含む)		
県民へのメッセージ	健康づくりは、個人の努力と実践が基本となります。県民一人ひとりが、健康づくりの重要性を自覚し、生活習慣の改善のための行動を実践しく必要があります。		

	課題 (何を)	具体施策 (何によって)	目標値 (どれくらい)	目標 (どんな状態にする)
目標 1	食育推進のための啓発[食育推進活動事業]	毎年3,000人以上を対象とした食育講座を実施します。	地域ごとの食育講座 受講者数 3,138人(H22) 3,000人以上	県民が食育に関心を持ち、食を選択する能力を身につけ、正しい食生活を実践することにより、元気で心豊かに暮らしている。
目標 2	がん計画、がん検診推進事業	各種がん検診受診率向上のため、受診率の低い年代等特に受診勧奨すべき集団を中心にがん検診受診啓発を行います。	胃、大腸、乳、子宮各がんの精密検査受診率 73.8～92.78%(H21) 100%	がんによる死亡が減少している。がん患者および家族の苦痛が軽減されている。
目標 3	周産期保健医療	安心・安全な妊娠生活を送り、出産につなげるため、妊婦健診受診啓発や妊娠リスクスコアの活用などにより、乳児死亡率を改善します。	妊娠リスクスコアの活用に取り組む市町数 18市町(H22) 19市町	生まれる前、生まれてからの子どもの命を守るための啓発に身近な市町で取り組むことで乳児死亡率が改善している。
目標 4	糖尿病医療連携	県において連携会議を設置して糖尿病医療連携指針を作成し、それを元に二次医療圏毎に医療連携に向けた検討を進めます。	連携指針作成検討委員会の開催2回 指針の作成 保健所毎の検討会の開催 各保健所2回	糖尿病の合併症のうち、特に糖尿病性腎症による腎透析患が減少している。
目標 5	難病医療連携推進事業	重症難病患者の地域における受入を円滑に行うための医療機関のネットワークの推進を図り、重症難病患者の受入環境の整備(レスパイト入院体制の整備)など患者の療養環境の向上を図ります。	県内病院におけるレスパイト入院受入病院数 23病院(H22) 25病院	難病患者等がレスパイト入院できる病院を拡大し、難病患者等が必要な時に一時入院できる。